

**製品名: MSK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00408**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 90 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPS6KA5
別名	RPS6KA5; MSK1; Ribosomal protein S6 kinase alpha-5; S6K-alpha-5; 90 kDa ribosomal protein S6 kinase 5; Nuclear mitogen- and stress-activated protein kinase 1; RSK-like protein kinase; RSKL
遺伝子 ID	9252
SwissProt ID	O75582
免疫原	抗血清はヒト MSK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 551-600

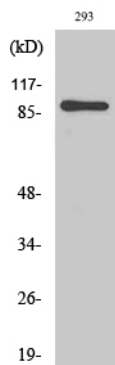
**背景**

セリン/スレオニンタンパク質キナーゼは、転写因子 CREB1 および ATF1 のマイトジェンまたはストレス誘導性リン酸化、ならびに転写因子 RELA、STAT3、および ETV1/ER81 の調節に必須であり、ヒストンリン酸化による遺伝子活性化に寄与し、炎症性遺伝子の調節に機能する。UV-C 照射、上皮成長因子 (EGF)、アノソマイシンなどのマイトジェンまたはストレス刺激に応答して、CREB1 および ATF1 をリン酸化します。

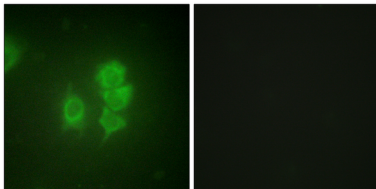
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



MSK1 抗体を使用した 293 溶解物中の MSK1 のウエスタンブロット分析。



MSK1 抗体を用いた HUVEC 中の MSK1 の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドを用いてブロックした。